

## 医療法人 社団 若鮎 北島病院



### 職員の仕事と家庭の両立のため 健康経営の取り組みは不可欠



#### 常にベストな健康状態で 患者さんを受け入れできるように

当院は越知町を拠点とする緊急指定医療機関で、急患は夜間休日を含む24時間体制で対応しています。職員が常にベストコンディションで治療や受け入れできる、そして技術や経験を持つ職員が長く働くことができる職場を目標として取り組みを行っています。

#### 取り組みの きっかけ

#### 地域医療に大切な職員が 長く働くことができるように

医療業であることから、以前から当院のある越知町や周辺地域の方々に健康についての意識を持っていただく活動をはじめ、職員の健康増進のためのイベントや健康診断を実施してきました。しかし、もう一步踏み込んで、大切な職員が健康で長く働くことができる職場をつくりたいと考えている時に健康経営を知り、取り組むことにしました。

#### 取り組みの 内容

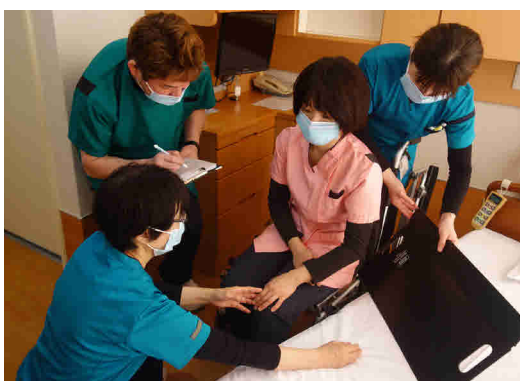
#### 男女各種検診の推奨や 腰痛予防のチームを結成

定期検診の他、男性には前立腺特異抗原 (PSA) 検査、女性には乳がん検診を勧めました。また、現場の疲弊感の軽減のために腰痛対策チームを立ち上げました。医療・介護従事者の腰痛率の高さは業界内でも深刻な問題のひとつで、予防的対策が急務と言われています。チームにより法人全体で、“抱えない介護・看護”を実践するようになりました。

#### 取り組みの 成果

#### 検診で病気を早期発見し 大切な人材を守ることができています

PSA検査、また乳腺エコーによる乳がん検査で実際に病気が発見された職員がいました。早期の発見、診断で経過を見ながら働き方を早い段階から相談することができるため、大切な人材の損失を防ぐことができました。「持ち上げない、抱え上げない、引きずらないケア」のノーリフティングマイスター養成受講を積極的に勧めて人材育成を行い、現在は高知県のノーリフティング実践施設にも登録されています。



スライディングボードを使用した移乗の様子

#### 【会社データ】

- 業務内容:医療業
- 創業:1945(昭和20)年9月
- 職員数:118人
- TEL.0889-26-0432
- FAX.0889-26-3600



公式WEBサイト

#### 今後の目標

#### 腰痛予防&軽減の知識や技術を 全職員に伝えていきたい

30~40代が中心層で腰痛持ちの職員も多くいます。ノーリフティングマイスターを育成することで、特定の職員だけでなく事務職に至る現場の職員に腰痛は予防できることを知ってもらい、克服を図りたいです。検診や健康増進の設備、機械導入は大きな負担になるので、同じように健康経営を目指している事業所に協力したいと思っています。